



のびる ほどっ子！

令和5年5月31日
横浜市立保土ヶ谷小学校
学校長 宮生 和郎



ほっとな未来へ 3C!

次のステップへの足掛かりに

副校長 日野 る美

5月8日以降、新型コロナウイルスの法的な位置付けが「5類」に移行しました。それに伴って行動制限が大幅に緩和され、経済効果がさまざまな分野において上向きに試算されています。学校教育においても、例外ではありません。コロナ禍をきっかけに大きく変化した3年間でしたが、活動の広がりと共に教育の活性化が期待されます。

この3年間でポジティブに捉えるならば、今までの学校教育及び学校に関わるさまざまな活動を見直す機会となりました。今後はすべてをコロナ禍以前に戻すのではなく、目標を明確化し、時間をかけるべきことには重点をおき、削減や縮小できることはスリム化するような、メリハリのついた開かれた教育活動を展開していきます。

参観人数を制限することなく行われた、今年の「全校なかよしスポーツ祭」。当日はたくさんの方々に参観していただき、本当にありがとうございました。来られなかった方も、スポーツ祭後には頑張った様子をご家庭で聞かれたことと思います。

一人ひとりが目標をもって臨んだスポーツ祭。自分に合った「かかとをあげた」目標を掲げ、それに向かってそれぞれが取り組んできました。

練習中にも、目標に向かって頑張る姿をたくさん目にすることができました。指先まで神経を集中させて波の様子を表現しようとする姿。応援での動きをみんなで頭を寄せ合い話合っていた姿。放送原稿を考えるために、前もって演技を見ようとする姿勢。勝敗を受け入れ拍手をして相手を称える姿。体調がすぐれない友だちにそっと水を差し出す優しい心。

そしてスポーツ祭当日にはいろいろな場面で個々の輝きがみられ、子どもたちの表情がそれらを物語っていました。子どもたちには自分が取り組んできたことを振り返り、スポーツ祭を通して学んだことや成長への気づきを次のステップへの足掛かりとしてもらいたいと思います。

スポーツ祭を実施するにあたり、お力添えをいただきました保護者の皆様をはじめ、安全に実施できるようにパトロールをしてくださったメンズクラブの皆様、いつも温かく見守ってくださっている地域の皆様。保土ヶ谷小学校を支えてくださるたくさんの皆様のご協力とご支援のおかげで、無事スポーツ祭を終えることができました。今後も、教育活動の充実に向けて全職員で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。